

第90号

# 酪農とちぎ



8月4日那須高原支所管内野外パーティーより

「キャラクター<sup>えみ</sup>笑味ちゃん」

- 1 ページ 表紙
- 2～3 ページ 乳質改善(バルク乳スクリーニングテストについて)
- 3～4 ページ 部課だより(業務部)
- 5 ページ " (生乳販売課)
- 6～7 ページ 東西南北(各支所)
- 8 ページ 理事会だより、お知らせ、市場成績



みんなのよい食プロジェクト



# バルク乳スクリーニングテストは

## 何のためにやるの？

### ◆バルク乳スクリーニングテストとは

すでに皆さんもこの検査をやられていると思いますが、毎年のバルク乳スクリーニングテストを実施しだしてから5年以上の年月が経過しております。この辺でもう一度このテストの意味を確認しておきたいと思います。

このテストでは、乳房炎原因菌の種類とその数を調べることで、その汚染程度や搾乳衛生の状態を把握することが可能となり、その後の対策を立てるための有効な指針となります。また、継続的にモニタリングすることは、農場における搾乳衛生状態や乳房炎原因菌の牛群への広がりや予測するための基本データとなり、乳房炎問題を解決するための多くの情報を得ることになります。まさに乳房炎コントロールの「ファーストステップ」と位置付けられます。

### ◆バルク乳スクリーニングテスト

#### 継続の重要性

ここで過去に乳房炎防除に取り組んだ事例を紹介します。この農場では、生菌数（2万1000個/ml）と大腸菌数（2800個/ml）が高い傾向にありました。そこで搾乳手順の見直しと搾乳機器の点検および牛床環境の改善を実施しました。改善後、確認のためバルク乳スクリーニングテストを行い、生菌数と大腸菌数が正常範囲内まで減ったことが確認できました。しかし、翌年のテストで再び大腸菌数が増えたため敷料の細菌培養検査を実施するとともに、搾乳機器の点検を行い、再度バルク乳スクリーニングテストで確認しました。敷料の状態等の環境は季節によって大きく変動するもので、同じことをやってもうまくいかなくなる場合があります。従って継続的にモニタリングする

ことによって現状の確認をする必要があります。（2回目の改善後の推移は、別添グラフ参照）

また、伝染性乳房炎の原因菌である黄色ブドウ球菌は、その特徴から乳汁中への排菌量は少なく、時には検出されない場合もあります。したがって、継続してモニタリングを行わないと、黄色ブドウ球菌を見逃してしまい、数か月後には黄色ブドウ球菌による乳房炎が増えているといった、乳房炎コントロールの失敗につながる可能性があります。

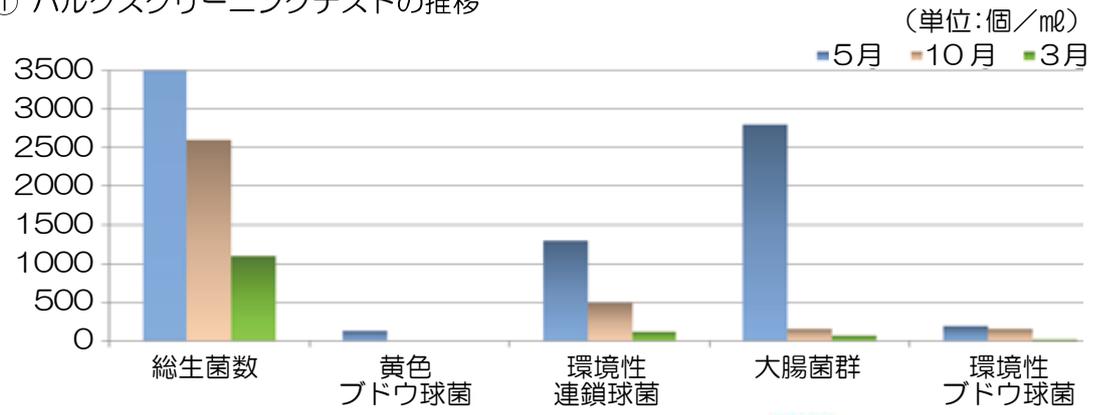
### ◆まとめ

このようにバルク乳スクリーニングテストは継続的に行うことが重要です。牛群の保菌状況を知ること、現状の搾乳衛生状態と飼養環境状況の把握することができ、乳房炎発生原因の究明とその対策が明確になります。毎回届くテスト結果の数値を見比べることによって、今、我が牧場にいる「目に見えない住人」を知って、日々の安定した高品質な生乳生産の助

けとなるのが、このバルク乳スクリーニングテストということですね。

## 2回目の改善後の推移

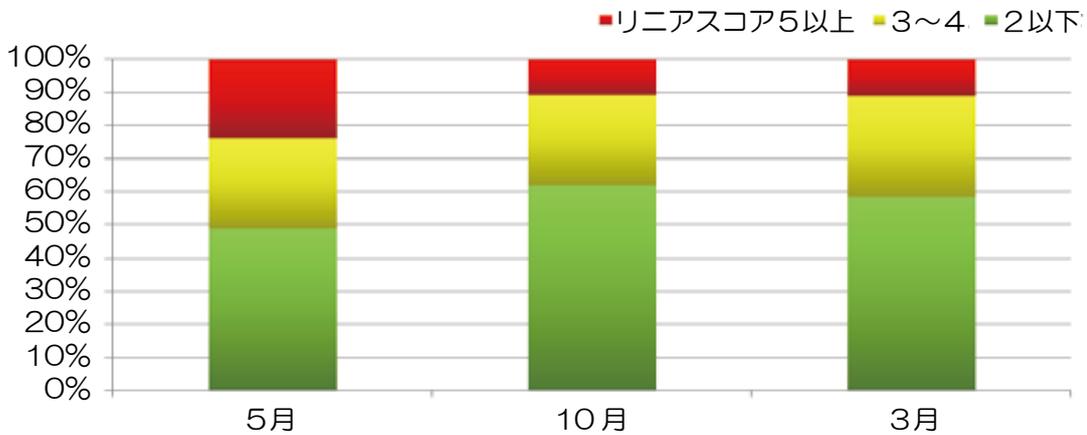
① バルクスクリーニングテストの推移



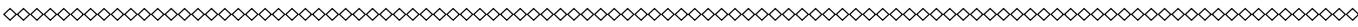
② 体細胞数の推移（検定成績より）

牛群内において、リニアスコア2（体細胞数7万個/ml）以下が1割増え、5以上（28.3万）以上が1割減少しました。

リニアスコアとは体細胞数を統計処理するために対数変換した値。リニアスコアに変換することによって、牛群内の乳房炎感染率を統計的に判断することが可能となります。  
 《リニアスコア2以下＝健康牛 3～4＝乳房炎要注意牛 5以上＝乳房炎牛》



この牧場は、搾乳手順の見直しと搾乳機器の点検、牛床環境の改善に取り組んで一度は総生菌数と大腸菌群数が正常範囲まで下がりましたが、一年後のテストにて再度総生菌数と大腸菌群数が悪化してしまい、敷料、搾乳機器を再度点検し、改善を見た事例です。その後も安定して推移しています。



増田氏からは、「男性と女性には構造が違うので、このように接すると女性にモテます！」という恋愛テクニックから、「こんなセッションをしながら「こんなの話をしてはダメです」といって話を上ねて、増田氏には、なかなか難しいところを解き明かすのが、私から第一印象の続きです。私も今日から実践した

8月24日に、高根沢町元気があふむらにて婚活セミナーが開催されました。9月のカップリングパーティーに向けて事前研修では、日々の酪農業に励むという青年の悩みを解決したい！という思いでセミナーを企画しました。そこで、事務局として5ヶ月の私、嶋村も事務局として参加させて頂きました。講師には、データコンサルタントの増田氏と、イメーションコンサルタントの渋谷氏を招き、7名が受講しました。今回のセミナーは、受講者の1人1人の今、解決したい悩みを明確にした上で、それを解決するための具体的な話をして頂き、

**業務部**

● 婚活セミナー開催

**部課だより**



婚活セミナー風景

大切さ、女性に好印象を与えるファッションなど外見を中心とした内容をお話し頂きました。また、受講者には9月のカップリングパーティーに参加する服装でもっと良くなり、「ここをこうする」と1人に合うファッションカラー、デザイン、サイズ等具体的にアドバイス頂きました。ファッションチェックを受ける機会って、なかなか無いと思います。私は当日作業服だったので私服で参加すればよかったと後悔しています。私の事はさておき、今回のセミナーを通し、改めて自分の悩みに気づき、今後の解決策を知ることができたと思います。また、自分に似合う服装も知ることができ、非常に参考になる研修内容でした。講師の両名からは、「皆様服装に気を遣われていて、相手の気持ちを考えている素敵の方々だったのう、今後良い方向に進んでいくよう、応援しています！」と嬉しい言葉頂きました。受講者の皆様、今後の活動に活かしていきます。よう！私も日々精進致します。



# 生乳販売課

平成28年8月度の組合生乳生産量は、昨年同月乳量と比較し100.9%（1万9654t）と、2ヶ月連続し前年を上回る生産です。各支所の受入乳量は、那須高原支所は1万2819t（前年比101.6%）宇都宮支所2475t（前年比98.6%）、県南支所4361t（前年比100.1%）となり、宇都宮支所の生産量が前年を下回る状況です。出荷者数は、前年同月より18戸減の447戸（内、学校は2校）でした。

8月度迄の平均乳質は、脂肪率は7月を除き前年を上回る状況、無脂固形分率は6月を除き前年並みで推移、細胞数は8月に大きく前年を下回る好成績となりました。尚、8月の不合格件数は101件で、体細胞数の不合格件数が34件減少し、4ヶ月連続で前年を下回る状況です。

関東生乳販連の8月総受託乳量は、8万9708tとなり、前年比100.0%、プラス5tとなり、6ヶ月振りに前年を上回る状況になりました。

また、用途別の販売数量は、生乳生産量が前年並みと回復した状況もあり、飲用向け前年比101%と2ヶ月連続で前年を上

回り、加工向けは90.8%と、大きく前年を下回る実績でした。8月の全国の生産量は、北海道が前年比100.3%と2ヶ月連続し前年同月を上回る状況でしたが、都府県は前年同月比99.2%と、11ヶ月連続して前年割れが続いています。尚、平成28年8月の生産量・乳質、関東生乳販連の用途別販売数量は別表のとおりとなっております。

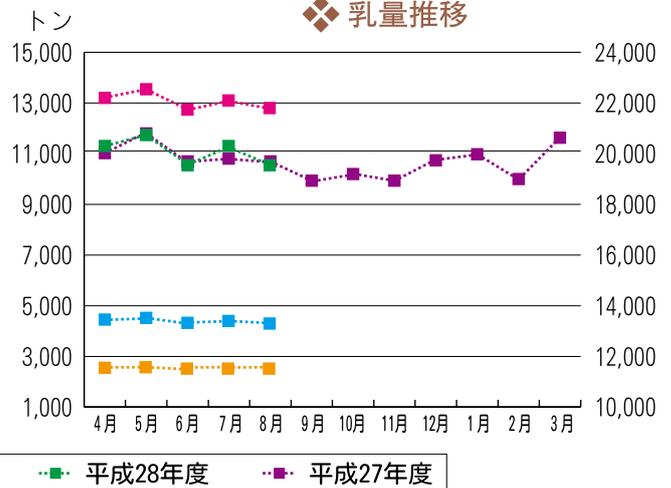
平成28年度 関東生乳販連用途別販売数量（単位：kg・%）

用途	8月期実績	前年同期実績	前年比	8月末実績(累計)	前年同期実績	前年比
飲用牛乳向け	65,168,414	64,512,925	101.0	352,122,693	352,560,922	99.9
(うち学校向け)	662,501	804,550	82.3	43,806,358	44,451,871	98.5
はっ酵乳向け	13,640,839	13,363,023	102.1	66,508,906	66,194,586	100.5
特定乳製品向け	9,061,837	9,976,769	90.8	41,992,712	44,754,291	93.8
(うち委託加工向け)	0	0	-	0	0	-
生クリーム向け	1,763,216	1,770,914	99.6	8,202,649	9,136,070	89.8
チーズ向け	74,123	79,758	92.9	321,834	339,111	94.9
全乳哺育向け	0	0	-	0	0	-
総受託乳量	89,708,429	89,703,389	100.0	469,148,794	472,984,980	99.2
加工比率	10.10	11.12	-	8.95	9.46	-

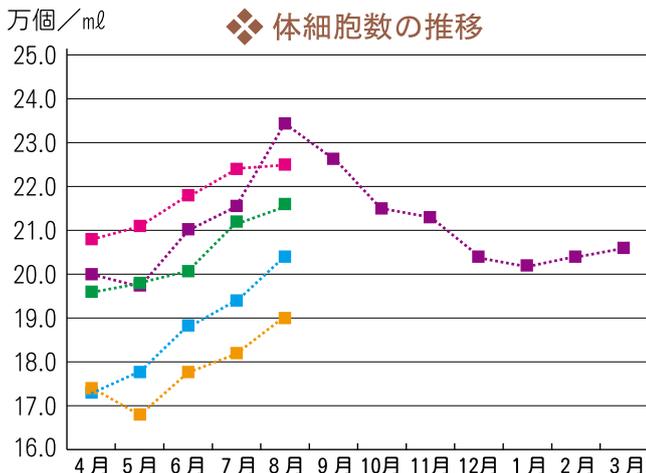
## 脂肪率の推移



## 乳量推移



## 体細胞数の推移



## 無脂乳固形分率の推移



# 東西南北

## 那須高原支所

今年も大盛況

野外パーティー開催

8月4日、夏本番の晴天の下、那須町共同利用模範牧場において、野外パーティーが開催されました。支所活動推進協議会が主催するこの行事は、今年で14回目を迎え、総勢480名余が一堂に会



田代和一協議会長より開会の挨拶

し盛大に行われました。田代和一協議会長から主催者の挨拶、坂主正組合長から来賓のご挨拶、そして那須だいきすき牛乳での乾杯でパーティーが始まりました。テントの中ではバーベキューを囲み、美味しい食事と楽しい会話で日頃の労をねぎらって頂きました。また、イベントとしては、ジャンケン大会、地区対抗ゲーム、抽選会が行われました。

お子様向けのジャンケン大会では、今年は牛に扮したスタッフとジャンケンをしてもらい、運良く勝てたら花火セットを、惜しくも負けてしまったも乳製品セットを、くまモンに扮したスタッフから手渡して喜ばれました。

続く地区対抗ゲームは、パン食い、牛乳早飲み、アメ探し、借り物などの競争を各地区4人の選手が分担してリレーする、障害物競争です。1等賞品を持ち帰るべく、代表選手達が全力でチャレンジしました。そのため、物や人、お題盛り沢山の借り物競争では、屈強な選手達にロックオンされた会場



お楽しみ！抽選会

内の参加者は、戸惑いながらも満面の笑顔でゲームに参加していました。

最後は、恒例のお楽しみ抽選会です。抽選箱に入った用紙を田代会長に引いてもらい、地区名、氏名が読み上げられる度に、各地区テントの中では大変な盛り上がりでした。

関係各位のご協力により、今年も楽しい夏のひと時を大勢の参加者と共に過ごす事が出来ありがとうございました。来年も沢山の方のご参加をお待ちしております。

## 宇都宮支所

支所全体交流会を開催

8月3日、今年も夏空の下、支所活動推進協議会（松井実会長）主催の全体交流会が支所前広場にて開催されました。当日は夏休み期間中でもあり、お子様連れの家族も多く、関係業者の方々を含め86名が参加し、楽しいひとときを過ごされました。

蝉の音が鳴り響く会場内では、汗をかきながら食べるバーベキューをはじめ、生ビールやかき氷、そして子供たちが元気にビ



お宝取り放題～たくさん取れるかなあ～





食べて・飲んで・笑って

ニールプールではしゃぐなど、大盛況となりました。また、恒例の余興でも抽選会や子供対象に、お宝（お菓子やおもちゃ）取り放題のお楽しみ会を行い、大いに盛り上がりました。

参加された方々は「食べて・飲んで・笑って」懇親を深めながら、一日を十分に満喫されたことと思えます。

### 支所担い手育成研修会を開催

#### 〈税務申告（入門編）〉

9月1日、担い手育成の一環として、ソリマチ農業簿記での税務申告（入門編）研修会を支所にて

開催しました。講師には長嶋電算の長嶋修一先生をお招きし、10名が受講されました。今回は、入門編ということで、複式簿記の基本仕訳・勘定科目をはじめ、貸借対照表や入力についての説明を頂きました。

この税務研修会は、長嶋先生のご指導のもと年度内に複数回実施し、次回からは実際にパソコンを使用した勉強会となります。今回、出席出来なかった方も、ぜひ次回からの研修会に参加され、ソリマチ農業簿記を学習して頂きたい、お申込みされる方は、宇都宮支所までご連絡願います。



税務申告研修会

## 県南支所

### 沖地区デントコーン生育調査

去る7月25日、真岡市沖地区のデントコーン作付圃場において真岡市沖酪農組合（國母孝至組合長）、芳賀農業振興事務所、種子メーカー等関係機関が集まり、デントコーン生育調査を行いました。

毎年、刈取り予定日を決めるため、関係機関等が集まり、各圃場を巡回し生育状況を確認しています。今年も状況についても、各圃場とも生育も順調で、雑草処理についても徹底され、とてもきれいなデントコーン畑でした。

沖酪農組合では、特にこだわっているのが雑草防除で、草一本も圃場に生えていないようにする程の徹底ぶりです。徹底する理由として、地域において、土地を貸す側から「酪農家に土地を貸すと土地が荒らされる」ではなく、「酪農家なら安心して土地が貸せる」と言われるようにしたい、良質な自給飼料を生産したいとの思いがあるようです。

各デントコーン圃場巡回後、國母組合長の牛舎に場所を移し、収穫時における注意点等を再確認し終了しました。



デントコーン畑



育成状況確認風景



# 理事会だより

## 7月度理事会（7月27日）

### 報告事項

- (一) 組合員の加入脱退について
  - (二) 業務経過報告について
  - (三) 組合資金貸付について
  - (四) 昇給及び夏季手当の支給について
  - (五) 組合プール乳価について
  - (六) 特別管理未収金の報告について
  - (七) 乳牛飼養動態調査結果について
  - (八) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
  - (九) 子会社の第1四半期事業実績について
  - (十) 関東生乳販連情報について
- ### 協議事項
- (一) 6月度及び第1四半期事業実績について
  - (二) 基準値を超える井戸水使用に伴う対応について
  - (三) 固定資産の取得について

## 8月度理事会（8月30日）

### 報告事項

- (一) 組合員の加入脱退について
- (二) 業務経過報告について
- (三) 組合資金貸付について
- (四) 組合プール乳価について
- (五) 平成28年8月18日落雷に伴う組合施設被害状況について
- (六) 平成28年8月22日台風9号被害状況について
- (七) 東京電力原発事故農畜産物損害賠償について
- (八) 生乳生産管理チェックシート

ト記帳・記録状況について

(九) 関東生乳販連情報について

### 協議事項

- (一) 7月度事業実績について
- (二) 組合員出資口数の減について
- (三) 規程等の一部改正について
- (四) 固定資産の取得について

## お知らせ

### 「栃木県酪農フェア2016」開催のお知らせ

栃木県酪農協会主催「栃木県酪農フェア2016」及び「第26回栃木県ホルスタイン共進会」が以下の通り開催されます。

楽しい催しが盛りだくさんです。皆様のご来場をお待ち申し上げております。

日時 平成28年10月22日（土）

9時30分～15:00分（雨天決行ですが、悪天候の場合は中止）

場所 栃木県畜産酪農研究センター  
（那須塩原市千本松 298）

### 8月度 ホクレン初妊牛市場成績（単位：千円（税込））

市場名	開催日	出場頭数	成立頭数	取引率	平均価格	（そのうちET牛）		
						出場頭数	成立頭数	平均価格
北見	8月3日	317	237	74.8%	679	4	3	847
稚内	8月19日	253	207	81.8%	742	3	3	977
十勝	8月24日	776	723	93.2%	750	104	80	899
根室	8月25日	506	454	89.7%	740	61	45	906
釧路	8月26日	180	132	73.3%	718	3	2	917
合計		2,032	1,753	86.3%	726	175	133	912
前月		2,070	1,505	72.7%	693	171	123	831
前年同月		2,174	1,856	85.4%	578	151	133	697

初妊牛の今後の動向は、12～1月分娩予定の牛が中心になります。都府県導入が活発となり需要が高くなる時期である事に加え、道内での引き合いの強さや、黒毛和種の交配（和牛受精卵含む）の増加により、初妊牛の資源不足が依然として続いています。これらにより初妊牛価格は今後もやや強含み～強含みで推移するものと思われます。裾物の育成や初妊牛についても価格上昇が予想されますので、導入を希望される方は分娩腹の条件・価格等に十分余裕を持っての申し込みをお願い申し上げます。

### 8月度 県内家畜市場成績（単位：千円（税込））

市場名	種別	出場頭数	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	前回比
那須 （8/30）	ホルス雄	87	86	62	140,400	22,680	87,015	▲14,441
	F1雄	103	102	61	378,000	165,240	298,726	▲937
	F1雌	94	94	57	312,120	97,200	225,398	7,103
館林 （8/27）	ホルス雄	0	0	0	0	0	0	0
	F1雄	10	10	100	407,160	216,000	367,416	1,493
	F1雌	11	11	94	370,440	265,680	323,705	14,645

今回の初生牛の取引価格は前回から比較し、那須市場では全体的にやや弱含み、館林市場ではやや強含みで推移しています。那須・館林どちらの市場でも、8月初からの値動きと比較すると概ね6千円～30千円程度低下しています。素牛相場や枝肉相場等の動向で価格も影響を受けますが、今後小幅な動きを続けつつ、やや弱含みで推移していくものと思われます。



9月～11月は「秋の農作業安全確認運動」の実施期間です。

「自分だけは大丈夫」と思わないで、いつもの作業も安全確認を！

